

錦城高校新聞

題字 井口 文章
再刊 第234号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：錦城祭 いよいよすべての企画が決定
室内楽部・吹奏楽部 集大成の定期演奏会
映画研究部は20年続けて全国へ

錦城祭、多彩な企画が盛りだくさん！

今年らしさを溢れる団体が勢ぞろい

今年度の錦城祭は、9月16日(土)、17日(日)に開催される。錦城祭実行委員による企画審査を経て企画が決定した。着々と準備が進められるなか、実行委員長とパンフレット担当係に現在の進捗状況を聞いた。(緋・棟・碧)

団体	企画名	内容	団体	企画名	内容
1A	堀様、どーぶつ愛す。	アイス	3J	ケバケバケバ	ケバ
1B	タビオンズ with B	タビオカ	3K	Kasino	カジノ
1C	AKIRAN くれぶ	クレーブ	3L	3 L ッポギ	トッポギ
1D	ストラックアウトとゲルマ落とし	ゲーム	3M	ピーターパン	演劇
1E	fairy tale	演劇	7つツル	ブラジル風さるまき	バステル(巻き)
1F	世界で3番目に美味しいメロンパンスティック!?アイス	メロンパンとアイス	生物部	世界生き物紀行	生物展示
1G	ロミオとジュリエット ~1G ver.~	演劇	鉄道研究部	錦の鉄道員(ぼっぽや)	模型展示・走行
1H	いちいち わーくしょっぷ	ワークショップ	将棋部	帰ってきた将棋サロン	将棋
1I	MILLION SPOON	ミリオンスプーン	ワンガル部	ワンダーフォーゲル&スキー	活動紹介
1J	緑日	緑日	美術部	レジンショップ&絵画作品展	作品展示・販売
1K	男女逆転・白雪姫	演劇	文芸部	錦文代	部誌紹介
2A	2 - American juice	ジュース	陸上部	陸上部からの挑戦状	ゲーム
2B	BEGO WORLD®	ゲーム	放送部	KBC radio	ラジオ
2C	-2 Cafe	フローズンヨーグルト	空手道部	空手道部演武会	演武会
2D	もももももも	もちつき	ダンス部	破顔満笑	ダンス
2E	Dwarf Jelly Cheers!	ゼリーサイダー	吹奏楽部	ドリル・ステージショー	ドリル
2F	Bet de 鳥田	ミニゲーム	演劇部	演劇部～A journey of music～	演劇
2G	華押忍!	緑日	体操部	テンブリング	体操
2H	超B級広島焼きじゃ軒	広島焼き	室内楽部	Brightly concert	演奏会
2I	愛を捧げ	人探しゲーム	映画研究部	映画ロードショー	映像上映
2J	大乱闘スマッシュ DARUMA's	巨大ゲルマ落とし	弓道部	的中で～射抜け君のハート～	的中
2K	フルーツサンド	フルーツサンド	軽音部	K-ON LIVE	演奏
2L	L&n's theater	映像上映	新聞委員会	錦城高校新聞	新聞展示
3A	純氷屋へかきごおり	かき氷	図書委員会	古本市	古本市
3B	串田物語	焼き鳥	ギター同好会	路上ライブ2017	演奏会
3C	Let's share TAKOYAKI	たこ焼き	邦楽同好会	錦舞台	演奏会
3D	3D 来航	アイス	合気道同好会	合気道パーラー	アイスフロート
3E	3England	フルーツポンチ	茶道同好会	お茶会	お茶会
3F	Fried OREO	揚げオレオ	百人一首の会	百人一首展示会	百人一首紹介
3G	Candy Factory	わたあめ	生徒有志合唱団	私たちを旅する合唱団	合唱
3H	水あめ屋 3-H	水あめ	社会	55回生「新聞切抜き新聞」	新聞展示
3I	演劇「ナツヤスミ語辞典」	演劇	オーストラリアホームステイ	オーストラリアホームステイ展示(仮称)	展示(仮)



1年生、小論文で受験対策を学ぶ

6月14日(水)の6時間目、具体例はテーマと結びつけるに第2体育館で1年生を対象とした小論文講座が行われた。その講座では、桐原書店の小島清志さんが小論文の書き方のポイントについて説明してくれた。

また、「〜と思う」「〜だから」といった言葉遣いは曖昧さを感じさせるため、断定する。今回の講座を機に、日々の学習だけでなく小論文を書く練習もしていこう。(蘭)

集大成、音で魅せて

室内楽部・吹奏楽部 定期演奏会

6月17日(土)、ルネ小平で室内楽部第18回定期演奏会が開かれた。

第一部ではスコット・ジョプリンの作曲「エンターテイナー」をリズミカルに演奏。途中、足踏みをしたり、「わっはっは」という笑い声をあげたりしながらリズムを取り、会場を盛り上げていた。

第二部では学年演奏や有志の演奏が行われた。3年生の演奏が印象的だった。

6月18日(日)にはルネ小平大ホールにて吹奏楽部の第42回定期演奏会が行われた。第一部はクラシックステージ。国内外の伝承を基にした神秘的な曲が中心だ。『梁塵秘抄』熊野古道の幻想『〜』では、パーカッションが奏でる和太鼓のような音色が平安時代の雰囲気を醸し出していた。

続く第二部はステージドリル。リズムに合わせて楽器を大きく動かしながら見事な隊形を組み部員の姿や、ガードがフラッグを投げてキャッチした。

(藤・英・碧・湊)

今年らしい企画集まる

錦城祭実行委員長の野村愛未さん(2G)は、春学期球技大会の次の行事である錦城祭に向けて、生徒の間でムードが高まっているように感じるといいます。今年度は、今年から入れたこともあって各クラスで企画についてよく話し合ってくれて、いい形で進んでいます。1年生はクラスの雰囲気や明るさに、2・3年生は文系、理系に着目して企画を考えてくれたクラスも多かったそうで、今年らしさが出ていますと嬉しそうに話しています。

今年、企画書の提出が遅れた団体が複数あった。期日は絶対に守るようにと説明した。

今年度の反省点として、パンフレットに掲載されている校内見取り図の分りづらさが挙げられた。昨年度は教室場所やタイムテーブルについての質問が多かったと実行委員本部の経験に基づき、今年度は、初めて錦城祭に来る人にとっては校内見取り図が難しかったのではないかと話す。このことを活かして、今年度は、誰もが分かりやすい図になるように工夫していくそうです。

藤井さんは「先輩方を超える錦城祭を創る！」と先輩方に意気込んだので、良い意味で先輩方を越える！と笑顔で言い切った。

楽章ごとにそれぞれのダンスを表現し、雰囲気をはかりと変えて見事に演奏した。

アンコールは葉加瀬太郎の『情熱大陸』。観客の手拍子と共に迫力ある演奏で締めくくられ、盛大な拍手が送られた。

現部長の伊藤寛子さん(3A)と次期部長の山本真奈未さん(2H)は定演後、「観客の方たちの様々な表情を見られて最高に楽しかったです」と満足そうに話していた。

吹奏楽部 音楽で感動を

6月18日(日)にはルネ小平大ホールにて吹奏楽部の第42回定期演奏会が行われた。第一部はクラシックステージ。国内外の伝承を基にした神秘的な曲が中心だ。『梁塵秘抄』熊野古道の幻想『〜』では、パーカッションが奏でる和太鼓のような音色が平安時代の雰囲気を醸し出していた。

続く第二部はステージドリル。リズムに合わせて楽器を大きく動かしながら見事な隊形を組み部員の姿や、ガードがフラッグを投げてキャッチした。

(藤・英・碧・湊)

「錦城がより好きになりました」

教育実習生、3週間を振り返る

6月17日(土)に英会話室で新聞委員会主催の教育実習生の座談会を行った。

実習を終えて「体育が得意な人と苦手な人の差が激しく、スポーツの動作を言葉にするのが大変だった」と山田先生は話す。

「授業の準備や生徒側からは見えない先生の苦労を学べました」と岡本先生。星先生は「日に日に先生になりました」という想いが強まりました」と目を輝かせた。白井先生は「やるべきことが多く、1日の時間の使い方が難しくもって時間が欲しいと思った」と苦労を話した。

先生方は実習で「上手くいかなかったことしかない」と口を揃えた。杉岡先生は「伝えたいことが多くて要点が絞れず、やりたいことが時間内に終わらなかった。生徒に予想する姿に観客は湧いた。」

第三部のステージでは「ちびまる子ちゃん」の歴代OP・EDのメロディーが演奏された。「踊るポンポコリン」では、1年生は客席に飛び出し、舞する姿に観客は湧いた。

台上の3年生はまる子に扮して、可愛らしいダンスを披露。その後1・2年生の「遙か」の演奏の中、3年生ひとり一人の名前が呼ばれ、壇上に一列に並んだ。曲の最後に「3年間、ありがとう」といって、拍手で包まれた。

定演を終えて、部長の久下志歩さん(3B)は「音楽は人に感動を与えられる素敵なものだ」と分かってもらえたのだから何よりです」と嬉しそうに話した。(藤・英・碧・湊)

むらさき草

新学年になってから、早くも3か月が経った。小平ロッドでは期末が近づいて毎日のように行われる小テストの勉強のために、英単語帳や授業ノートを見ながら歩く生徒が多くなってきた。歩きながら本を読むなど、2つ以上の作業を同時進行でやることをマルチタスクというそうだ。果たして、このマルチタスクは効率が良いのだろうか。1つ1つに集中するよりも、複数の作業を同時にやるために、マルチタスクの方が効率的だと感じる人は多い。だが実際には、マルチタスクの方が効率的の悪いことが分かっている。米国のスタンフォード大学が2009年8月に発表した研究結果によると、マルチタスクを行うと、記憶力や情報整理能力が下がることが判明した。262人の学生たちに対する実験で、複数のことを同時にやるうちに、脳の中で区別がつかなくなり、最終的に脳に大きな負荷がかかることが分かった。そこでパイロットや宇宙飛行士は、マルチタスク能力がなければ、業務を遂行することができない。彼らは、複数の事柄に区別をつけて脳への負荷を軽減させるために、瞬時に優先順位をつけるための厳しい訓練を積む。訓練では、飛行機の操作シミュレーターを使い、飛行機の姿勢や高度の調整、目の前の障害物の確認などを同時にやる。この訓練を受けて初めて、宇宙飛行士たちも複数の作業を効率的にできるようになる。だがそういって訓練を積んでいない我々素人が行うマルチタスクは、スタンフォード大学の調査の通り非効率になることが多い。歩行者とぶつかることもあり、結局「歩き勉強」は「歩きスマホ」と同じ状態といえる。実際、錦城生の歩き勉強には、多数の苦情が寄せられている。小平ロッドを通路路として利用している小学生とぶつかる危険だ。事故の可能性もあり、効率も良くない歩き勉強はお勧めしない。ならばいつもより5分早く登校し、静かな教室で8000語を目指して勉強した方が、効率も良さそうだ。(天)

見やすいパンフレットを

パンフレット係の藤井清菜さん(2L)によると、現在、各

「生徒の理想の錦城祭を」と

委員長の野村さん

今年度の反省点として、パンフレットに掲載されている校内見取り図の分りづらさが挙げられた。昨年度は教室場所やタイムテーブルについての質問が多かったと実行委員本部の経験に基づき、今年度は、初めて錦城祭に来る人にとっては校内見取り図が難しかったのではないかと話す。このことを活かして、今年度は、誰もが分かりやすい図になるように工夫していくそうです。

藤井さんは「先輩方を超える錦城祭を創る！」と先輩方に意気込んだので、良い意味で先輩方を越える！と笑顔で言い切った。

楽章ごとにそれぞれのダンスを表現し、雰囲気をはかりと変えて見事に演奏した。

アンコールは葉加瀬太郎の『情熱大陸』。観客の手拍子と共に迫力ある演奏で締めくくられ、盛大な拍手が送られた。

現部長の伊藤寛子さん(3A)と次期部長の山本真奈未さん(2H)は定演後、「観客の方たちの様々な表情を見られて最高に楽しかったです」と満足そうに話していた。

吹奏楽部 音楽で感動を

6月18日(日)にはルネ小平大ホールにて吹奏楽部の第42回定期演奏会が行われた。第一部はクラシックステージ。国内外の伝承を基にした神秘的な曲が中心だ。『梁塵秘抄』熊野古道の幻想『〜』では、パーカッションが奏でる和太鼓のような音色が平安時代の雰囲気を醸し出していた。

続く第二部はステージドリル。リズムに合わせて楽器を大きく動かしながら見事な隊形を組み部員の姿や、ガードがフラッグを投げてキャッチした。

(藤・英・碧・湊)

錦城生に向けて

錦城生の印象について「職員室で生徒が学年組名前を呼んでから先生を呼んでいたのが礼儀正しく良かったので是非続けて欲しいです」と福張つと岡本先生。池増先生は「勉強も大事だが、今しか経験できないことを頑張り、自分の世界を広げてほしい」とエールを送った。

高田先生は「実習の経験はとても重要なもの。教師であることに関係なく人生の糧としていきたい」と3週間を締めくくった。(泰・日)

今年らしい企画集まる

錦城祭実行委員長の野村愛未さん(2G)は、春学期球技大会の次の行事である錦城祭に向けて、生徒の間でムードが高まっているように感じるといいます。今年度は、今年から入れたこともあって各クラスで企画についてよく話し合ってくれて、いい形で進んでいます。1年生はクラスの雰囲気や明るさに、2・3年生は文系、理系に着目して企画を考えてくれたクラスも多かったそうで、今年らしさが出ていますと嬉しそうに話しています。

今年らしい企画集まる

錦城祭実行委員長の野村愛未さん(2G)は、春学期球技大会の次の行事である錦城祭に向けて、生徒の間でムードが高まっているように感じるといいます。今年度は、今年から入れたこともあって各クラスで企画についてよく話し合ってくれて、いい形で進んでいます。1年生はクラスの雰囲気や明るさに、2・3年生は文系、理系に着目して企画を考えてくれたクラスも多かったそうで、今年らしさが出ていますと嬉しそうに話しています。

今年らしい企画集まる

錦城祭実行委員長の野村愛未さん(2G)は、春学期球技大会の次の行事である錦城祭に向けて、生徒の間でムードが高まっているように感じるといいます。今年度は、今年から入れたこともあって各クラスで企画についてよく話し合ってくれて、いい形で進んでいます。1年生はクラスの雰囲気や明るさに、2・3年生は文系、理系に着目して企画を考えてくれたクラスも多かったそうで、今年らしさが出ていますと嬉しそうに話しています。